



熊本県 青紫蘇農場株式会社

『海外輸出で紫蘇(しそ)のブランド化に挑む』

【主な品目】

紫蘇(大葉)、紫蘇加工品

【主な輸出先国・地域】

香港、シンガポール、台湾、英国、ドイツ

【輸出取組の概要】

- ◆ 平成18年から香港最高級小売店「シティスーパー」向け紫蘇(大葉)輸出開始。
- ◆ 平成19年からシンガポールへ紫蘇(大葉)及び紫蘇ジュースを輸出。
- ◆ 上記取組の後、欧米、アジア諸国に紫蘇(大葉)や紫蘇加工品を輸出。

【輸出実績】(平成18年から輸出開始)

	輸出額(万円)	輸出量(kg)	出荷時期
令和元年度	109	510	通年
平成30年度	123	560	
平成18年度	1,000	1,500	

【効果があった取組】

定期的に各国を訪問



計測センサー・モニターカメラ
管理用アプリ

【輸出後に抱えた課題】

- ・ 更なる販路拡大のため、ジェトロ、各国の県人会等を通じて情報を集め、現地商談会への市場出展や市場調査の実施。
- ・ 世界的な日本食ブームの中でとりわけ寿司がブームとなったこともあり、大葉やつまものに勝機。

【課題への対応】

- ・ ジェトロの事業を利用した輸出への取組み。
- ・ 米国、シンガポール、英国、フランス、韓国、ベトナム、台湾、ドイツのスーパーでのテスト販売。

【対応の結果】

- ・ 米国、香港、シンガポール、英国、フランス、韓国、ベトナム、台湾、ドイツでの販路開拓に成功。
- ・ 施設野菜では日本で初めて「生産情報公表JAS規格」認定を取得。安定した生産を確保することに成功。

【今後の課題・展望】

- ・ 自社の農産物の販路を十分知る必要があるため、経営者本人による相手国への市場調査。
- ・ 新型コロナの影響によるEU圏でのロックダウンにより、スーパー・飲食店向けの輸出量が鈍化しているため、新たな販路の開拓。



紫蘇の加工商品開発



生産情報公表農産物
農産物識別番号
3110-16-しそ-1180

【活用した支援・施策】平成20年「先進的総合生産工程管理体制構築事業」、ジェトロ支援の商談会
令和元年度GFPグローバル産地づくり推進事業

【ウェブサイト】 <https://shiso.net/index.html>

【連絡先】 担当者名: 吉川 幸人、TEL: 096-242-4878